

講演とミニコンサート

# 自閉症のピアニスト 中村 徹さんと家族の歩みから

～発達障害・自閉症スペクトラムを持つ少年は音楽に喜びを見出し、ピアニスト・作曲家の道へ～

ピアニスト・作曲家である中村徹さんと、父である中村健さんが10数年前何気なく始めた父子連弾。不思議なコミュニケーションが生まれ、ふたりでのめりこんでいるそうです。徹さんが自作連弾曲を次々と発表し、世界がどんどん広がっています。

演奏の合間に、徹さんの日常、ドイツでの診断の様子、音に対するこだわりなどをご両親より紹介していただきます。

2018年 **10月26日(金)**

**18:00～20:00** 入場無料

場所: **ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING**

## ■講師紹介■

中村 徹 (なかむら てつ) ピアノ・作曲

1982年12月ドイツ・オスナブリュック生まれ。6歳直前、ミンスター大学病院で「先天的な脳障害に起因すると推測される顕著な自閉的傾向による発達障害」(高機能自閉症)と診断され、7歳より日本で生活。大阪音楽大学ピアノ科在学中、作曲理論に大きな興味を抱き、卒業後作曲科に再入学。2010年同大学専攻科作曲専攻を修了。フリーの作曲家、ピアニストとして活躍している。

2009年、NHK教育テレビ「きらっといきる」で徹の日常がとりあげられる。副題は『ぼく、空気 読めないんです!』

2011年には自作作品による作品展「中村徹の世界」を開催、大好評を得る。作品はピアノ曲を中心に、歌曲、ヴァイオリン曲、打楽器アンサンブルなど多岐にわたる。また、2016年12月には自作の連弾作品CD「チャルダージュ」をリリース、音楽専門誌でもとりあげられ好評発売中。

中村 健 (なかむら けん) ピアノ・お話

指揮者、作曲家。神戸生まれ。東京藝術大学作曲科卒、同大学院指揮専門課程修了。同大学講師を経て1978年渡独。各地のオペラ劇場と指揮者、主任音楽コーチとして契約。1990年帰国、神戸女学院大学音楽学部着任。現在、同大学名誉教授。

中村 道子 (なかむら みちこ) お話

神戸生まれ。専業主婦。徹の最大最強の理解者。趣味のパッチワークは徹のCDジャケットの図案となった。

＜演奏予定曲目＞

チャイコフスキー：バレエ音楽「くるみわり人形」より

フンパーディンク：「ヘンゼルとグレーテル」前奏曲

(いずれも連弾編曲。中村徹&健)

中村 徹：「連弾のための8つのチャルダージュ」より

「NAOKO・連弾」

「音の手紙～お母さんのために～」(ソロ) ほか

＜いわてこどもケアセンター＞

〒028-3694 紫波郡矢巾町西徳田 2-1-1 岩手医科大学矢巾キャンパス内

TEL:019-651-5110 内線 5550 FAX:019-698-2313 E-mail:kensyu@iwate-ccc.jp